

大会プログラム

総会

2025 年 7 月 5 日(土) 13:00~13:30 (会場 4 号館 306 教室)

企業ブリーフィング

2025 年 7 月 5 日(土) 13:30~14:00 (会場 4 号館 306 教室)

- ・ 実教出版株式会社
- ・ 日本データパシフィック株式会社
- ・ アディッシュ株式会社
- ・ 株式会社技術評論社
- ・ paiza 株式会社

会長挨拶

2025 年 7 月 5 日(土) 14:05~14:15 (会場 4 号館 306 教室)

森本 康彦 先生
東京学芸大学 教授
日本情報科教育学会 会長

会場校挨拶

2025 年 7 月 5 日(土) 14:15~14:25 (会場 4 号館 306 教室)

小西 聖子 先生
武蔵野大学 学長

特別講演

2025 年 7 月 5 日(土) 14:25～15:25

(会場 4 号館 306 教室)

○ 招待講演

「学習指導要領改訂に向けた情報科教育の次へのステップ」

須藤 祥代 先生

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

文部科学省 初等中等教育局 学校情報基盤・教材課／教育課程課 情報教育振興室 教科調査官

参事官(高等学校担当)付 産業教育振興室 教科調査官

(ご講演の概要)

生成 AI をはじめとする技術の急速な進展により、学習環境や教育の在り方は大きな転換点を迎えています。こうした中、情報科教育はどのような「次の一歩」を踏み出すべきでしょうか。本講演では、次期学習指導要領の改訂に向けた中央教育審議会教育課程部会・教育課程企画特別部会での議論の動向を紹介するとともに、検討の前提となる現行学習指導要領が目指す授業改善の視点を提示します。とりわけ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実という視点に着目し、授業づくりの在り方を再考します。また、生成 AI などを活用した探究的な学びや、生徒の質的変容を引き出した実践など、具体的な授業事例を交えながら、今後の教育の可能性について考察します。変化の激しい時代にあって、情報科の授業は今後どのように進化していくべきか——。本講演が、参加される皆様お一人おひとりにとって、情報科教育の未来を構想するきっかけとなることを願っています。

招待講演

2025 年 7 月 5 日(土) 14:35~15:15

(会場 4 号館 306 教室)

○ 招待講演

「令和7年度大学入学共通テスト『情報Ⅰ』の問題評価・分析について」

水野 修治 先生

独立行政法人 大学入試センター 試験問題調査官(情報担当)

(ご講演の概要)

新しい学習指導要領に対応した令和7年度大学入学共通テストから、新しい教科として「情報」が追加され、その試験科目として『情報Ⅰ』が実施された。これは大学入試センターがこれまで実施してきた共通第1次学力試験、大学入試センター試験を通して、新しく教科が追加されることは初めてのことである。そして、国立大学協会が、原則としてこれまでの大学入学共通テスト「5教科7科目」に「情報」を加えた「6教科8科目」を課すという基本方針を掲げたことで、この試験は、『情報Ⅰ』及び『旧情報』(旧教育課程履修者への経過措置科目)を合わせて30万人以上が受ける試験となった。

本講演では、この令和7年度大学入学共通テスト『情報Ⅰ』の試験問題がどのようなものであったか、共通テストとして受験者のどのような資質・能力を測ろうとしたのか、そのねらいを問題作成方針と照らし合わせながら改めて解説し、高校関係者や外部有識者がこの試験問題をどのように評価したかを報告する。また、設問ごとの正答率から見えることを共に考察することで、高等学校等の授業改善の機会になればと考える。

企画セッション・ワークショップ

(情報科教育連携委員会 主催)

2025 年 7 月 5 日(土)

16:20～17:20 企画セッション (会場 4 号館 306 教室)

17:20～18:35 ワークショップ (会場 5 号館 501 教室・502 教室)

○企画セッション・ワークショップ

「続・これからの情報科で養う資質・能力と育成するための授業づくり
～共通テストの問題から検討する探究的な学び～」

概要

令和 7 年 1 月に実施された大学入学共通テスト「情報」では、高等学校学習指導要領において重視されている「主体的・対話的で深い学び」を通して育成する資質・能力が問われる内容が多く見られた。特に、単なる知識の暗記ではなく、深い理解を伴った知識の質が問われる問題や、習得した知識・技能を実際の場面に応用しながら、思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題が多く出題され、今後の情報科教育の方向性を示唆するものとなっている。

本企画セッションおよびワークショップでは、共通テスト「情報」に出題された問題の傾向を分析しながら、これからの情報科において育成すべき資質・能力について検討する。また、それらの資質・能力を育成するために、どのような授業設計や学習活動が求められるのか、参加者の皆様とともに具体的な実践事例や課題、改善の方向性を共有し、今後の授業づくりに活かすヒントを探っていく。

コーディネータ

藤岡 健史 先生(京都市立日吉ヶ丘高等学校 教諭)

パネリスト

吉田 拓也 先生(東大寺学園中・高等学校 教諭)

川浪 隆之 先生(樟蔭中学校・高等学校 教諭)

井手 広康 先生(愛知県立旭丘高等学校 教諭)

稲垣 俊介 先生(山梨大学 教育学部附属教育実践総合センター 准教授)